

YCU 長期留学プログラム 派遣学生報告書

氏名	D.I	学部・学科	国際商学部・国際商学科
学年	4年	派遣国	スウェーデン
派遣大学	オレブロ大学		
期間	2022年 8月 14日～ 2023年 6月 18日		

【生活編】

1. 滞在先

滞在形態	学内の学生寮					
部屋	個室					
設備	*共同=◎ 部屋にあるもの=○					
	トイレ	○	シャワー	○	洗面所	○
	キッチン	○	冷暖房	○	冷蔵庫	◎
滞在費	約 (60,000) 円 *1ヶ月あたりの寮費や家賃					
移動	(徒歩) で、約 (1) 分 *大学までの所要時間と移動方法					

転居した場合は、上記表をコピーして滞在先2の内容を追加してください。

2. 日常生活

(1) 1ヶ月の生活費

項目	金額	内訳
食費	40,000 円	外食含む
学用品購入費	20,000 円	教科書代等
交通費	3,000 円	バス代、基本的に移動は自転車
交際費	30,000 円	イベント参加費等
その他	7,000 円	
合計	100,000 円	*概算で記録してください。

(2) 治安状況・危険地域など

日本と同じような治安状況、しかしやはり海外ということもあり、特定の地域ではギャングや薬物の横行、ホームレスが溜まっている地域がある。大学とは真反対の地域のため近寄ることは基本的にないが近くを通るだけでも、危ない雰囲気があるため知らずとも立ち入ることはなかなかない。

3. 海外旅行損害保険について

保険の名称	学研災付帯海学		
加入期間	(10) ヶ月間	保険料	() 円

現地の国／大学指定の保険に加入した場合は、下記も記入してください。

保険の名称			
加入期間	() ヶ月間	保険料	() 円

4. 滞在都市についての情報

滞在都市／町 (オレブロ)

自然が多く、長閑な街並みが広がる地域。昼間には平日にも関わらず多くの人々がカフェにコーヒーを飲むために外に出てきている。これはスウェーデンの「fika」という文化で日本の「3時のおやつタイム」と同じようなものである。

そのため、午前中に授業が終わっていれば友達と中心街へカフェでコーヒーを飲むためだけに出かけることもよくある。

基本的に小さな街であり、毎日飽き足りないようなイベントや施設はない。そのため、友達と外でスポーツをしたり、自然を楽しむアクティビティに行くなど、自分達で工夫して楽しむ必要がある。

【学業編】

1. 大学情報

大学	オレブロ大学	所在地	オレブロ、スウェーデン
最寄空港	オレブロ空港（ロンドン行きのみ）	空港からの距離	タクシーで 30 分
空港⇄大学	（バス、もしくはタクシー） *移動手段		
学生数	17,000	留学生数	200
学部	生物学 経営学 化学 土木工学 コンピュータサイエンス学 経済学 法学 教育学 文学 映像学 統計学 *留学先大学の保有する学部をすべて記載してください。		
学部/専攻	経営学部 *留学中に所属した学部/専攻を記載してください。		

2. 週間スケジュール

① (6)月～(7)月

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
午前	起床 朝食 授業 ジム シャワー 昼食	起床 ブランチ ジム シャワー	起床 ブランチ 課題	起床 朝食 授業 帰宅 グループワー ク 昼寝	起床 ブランチ ジム シャワー
午後	昼寝 カフェ 帰宅 課題 シャワー 夕食 就寝	昼食 グループワー ク 夕食 就寝	昼食 昼寝 ジム シャワー 夕食 就寝	昼食 ジム シャワー 夕食 就寝	昼食 昼寝 夕食 クラブ

② (2)月～(3)月

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
午前	起床 ブランチ シャワー 昼食	起床 朝食 授業 帰宅 課題 昼食 昼寝	起床 ブランチ シャワー ジム	起床 ブランチ グループワー ク	起床 朝食 授業 帰宅 昼寝 昼食
午後	カフェ ジム シャワー 夕食 就寝	ジム シャワー 夕食 就寝	シャワー 昼食 カフェ 夕食 就寝	ジム シャワー 昼寝 夕食 就寝	ジム シャワー 夕食 クラブ

3. 履修内容

科目	Strategic brand management		
履修期間	5/1~6/4	単位数	7.5
授業内容／形態	対面 ブランド構築におけるノウハウを学び、実際の企業を例に研究を行う		
成績	3/7.5		
YCU 振替予定	科目		
	単位数		
	担当教員		

科目	International management		
履修期間	2/20~4/30	単位数	7.5
授業内容／形態	多国籍企業における多様なバックグラウンドを持った人々がどのようにコミュニケーション、相互理解を行うのか 経営管理部はこれらをどのようにマネジメントするのかについて学習する グループワークメイン		
成績	2/7.5		
YCU 振替予定	科目		
	単位数		
	担当教員		

科目	Culture and leadership in international business		
履修期間	2/20~4/30	単位数	7.5
授業内容／形態	企業の国際展開における各国の法律、慣習、文化等に企業がどのように対応していくのかについて議論を重ねケーススタディを行う		
成績	2.5/7.5		
YCU 振替予定	科目		
	単位数		
	担当教員		

科目	Business logistics		
履修期間	1/16~2/19	単位数	7.5
授業内容／形態	流通における経営戦略を学び、グループワークを通じてケーススタディを行う。 また、テキストを基準に倉庫管理、流通方法等について具体的な方法について学習する。		
成績	0/7.5		
YCU 振替予定	科目		
	単位数		
	担当教員		

科目	Global marketing		
履修期間	10/3~11/6	単位数	7.5
授業内容／形態	企業の国際経営における全般項目についてその基礎知識を学習すると共に個人・グループでの学習を深める		
成績	2.5/7.5		
YCU 振替予定	科目		
	単位数		
	担当教員		

科目	Marketing of sports and events		
履修期間	8/29~11/06	単位数	7.5
授業内容／形態	様々なスポーツイベントやイベント活動における企業の広告活動についてそのフローやリーグ・企業にとってのメリットを学習する。		
成績	3.5/7.5		
YCU 振替予定	科目		
	単位数		
	担当教員		

科目	Supply chain management		
履修期間	12/12~1/15	単位数	7.5
授業内容／形態	基本的には流通経済における基本的な内容について理科を深めると共に個人での課題に取り組むことが中心の授業になっている。		
成績	0/7.5		
YCU 振替予定	科目		
	単位数		
	担当教員		

科目			
履修期間		単位数	
授業内容／形態			
成績			
YCU 振替予定	科目		
	単位数		
	担当教員		

YCU 長期留学プログラム 派遣学生報告書

名前	井戸口大樹	学部・学科	国際商学部・国際商学科
学年	4年	派遣国	スウェーデン
派遣大学	オレブロ大学		
期間	2022年 8月 14日～ 2023年 6月 18日		
プログラム			

< 留学先大学での履修内容 >

科目	Strategic brand management
講義内容	対面 ブランド構築におけるノウハウを学び、実際の企業を例に研究を行う
科目	International management
講義内容	多国籍企業における多様なバックグラウンドを持った人々がどのようにコミュニケーション、相互理解を行うのか 経営管理部はこれらをどのようにマネジメントするのかについて学習する グループワークメイン
科目	Culture and leadership in international business
講義内容	企業の国際展開における各国の法律、慣習、文化等に企業がどのように対応していくのかについて議論を重ねケーススタディを行う
科目	Business logistics
講義内容	流通における経営戦略を学び、グループワークを通じてケーススタディを行う。 また、テキストを基準に倉庫管理、流通方法等について具体的な方法について学習する。
科目	Global marketing
講義内容	企業の国際経営における全般項目についてその基礎知識を学習すると共に個人・グループでの学習を深める
科目	Marketing of sports and events
講義内容	様々なスポーツイベントやイベント活動における企業の広告活動についてそのフローやリーグ・企業にとってのメリットを学習する。

<総括>

(1) 全体的な感想 *留学生生活全体を通しての気づきや学びをまとめてください。(800字以上)

スウェーデンでの約1年間に及ぶ滞在は、英語力の向上及び多様性に対する理解力の向上に多くの成長を見ることができた。

英語力に関しては、読み・書き・スピーキング・リスニング全ての技能において英語を使用することはさながら、学術的な論文を読んだり、グループワークにおいて専門的知識について議論したり等、高度な英語運用能力を求められる場面が数多くありました。結果的に単位として本学に互換出来るものは残念ながらなかったものの、一方で個人的な英語に対する姿勢やハードルの下がり具合は国内では経験できないようなものばかりであったと感じている。

また、世界でも有数な多様性に対して理解の進んでいるスウェーデンに留学できたことは、英語力の向上以外に、人を認め・自分を認め、相互愛を形成していくにあたって、どのようなことが大切であるのか、他者のバックグラウンドの多様性に驚くとともに、これらに対してどのような対応が求められているのかについて学ぶことができた。アジアンヘイトが自分に対して向けられなかったかという嘘になるが、それ以上に私の味方してくれる人間が多くいかに相互的に支援しながら生活をしていくことが大切なのかを、インターネットが支配する世界になったこの世界で体感することができたことは、とても貴重な体験となった。

今回の交換留学では、数えきれない経験を積むことができた。かけがえのない友人が世界各地にできた。人生で一度あれば幸運とされる自然現象を何度も体験することができた。こういった、貴重な経験から学んだ多くのことはこれからの人生における宝物になるであろう。しかし、飾っておくだけでは勿体無いこの宝物、しっかりと普段の生活にその学びを取り入れることで人生をより豊かで教養のあるものにしていきたいと考えている。

最後に、この素晴らしい機会を提供してくれた両親に感謝し、彼らの期待を裏切らぬよう、今後も勉学に励むことで恩返しを少しでもできたらと考えている。

(2) 今後の展望 *この経験を今後どのように活かしていきたいかをまとめてください。(400 字以上)

今回の経験で学んだことの多くは、日本人の大半の人が知らない、もしくは忘れてしまっているものであった。人を支え、自分で探求し、改善する。他人を認め自己を愛する気持ちを帰国してから、友達と会話する中であまり感じられなかった。インターネット社会では中々気づくことのできない人との触れ合いに関して、押し付けることはないが、友達として、私自身の経験を伝え、友人の人生をより豊かなものにできたらと考えている。

また、勉学では女性活躍推進が進んでいる北欧において感じた、日本との違いについて積極的に発表・共有することで授業に貢献することで、授業の内容を教員と一緒により良いものにできればと考えている。

そして個人的展望として、昔から掲げていた、英語を中心とした職につき海外で活躍するという夢に一步近づいたので、これからその夢の達成のために努力を惜しまず、日々自己研鑽に励み、自身が納得できる結果を手に入れたと考えている。

(3) 後輩へのアドバイス *留学を希望する学生にむけてのアドバイスをお願いします。(400 字以上)

人との出会いを大事にしてもらいたいです。そして、恥ずかしがらずにそのかけがえのない出会いを自分から作ってほしいです。ヨーロッパは多くの国が共存しており、各国異なった文化を持っています。閉鎖的なコミュニティ（同国内の人間としか関わらない人）が好きな人間もいます。ただ、無理にとは言わないが、そういった状況に飛び込んでほしい、アジア人からすればヨーロッパ人は未知ですが、彼らもまたあなたを未知なものだと思っています。閉鎖的コミュニティを好む人間もいますが常にそうとは限らず、一度会話をすると遊びに出かけようと誘われることさえあります。日本人とアジア人と仲良くすることも楽しいのは間違いありませんが、人生一度のチャンスです。多くを失うわけでもないので、一度はチャレンジしてほしいです。そうすれば、かけがえのない思い出を残し、世界中に訪れることのできる友人を作ることができます。私はその挑戦をしてよかったと帰国して 4 ヶ月ほど経ちましたが、今も感じています。